



社会福祉法人 済生会支部

大分県 済生会 日田病院 広報誌「なでしこ」(巡回通信誌)

なでしこ

NADESHIKO

Oita Prefecture Saiseikai Hita Hospital

2025
新年号
vol.10

2025 1月~3月



特集：歯科口腔外科

部長 中村 芳明 / 医員 森口 智史



<https://saiseikai.hita.oita.jp>

INDEX

- 2 | 院長挨拶：「無料低額診療は済生会の原点」：院長 林田 良三
- 3 | コラム：「声のおはなし」リハビリテーション部
主任言語聴覚士 金子 武史
- 4-5 | 特集：「薬剤関連顎骨壊死防止の取り組みについて」
- 歯科口腔外科 -
部長 中村 芳明 / 医員 森口 智史

- 6 | 「公認心理師・臨床心理士の現在の取り組みについて」
公認心理師・臨床心理士 田中ユリ子
ドクター紹介
- 7 | 連携医療機関紹介記事「中川泌尿器科」・ID-Link
- 8 | インフォメーション：無料又は低額診療のご案内
令和6年度 巡回診療事業計画のお知らせ

無料低額診療は済生会の原点

院長 林田 良三

昨年は能登半島地震や年々激甚化する自然災害で多くの人々が平穏な日常生活を奪われてしまいました。経済面では国内総生産(GDP)の4位転落など、日本経済は陰りをみせ、日々の生活に困窮する人が増えています。一方、政治資金規正法違反事件などで国政は停滞し、国民の生活を守る責務を十分果たしていません。加えて世界に類をみないスピードで進む少子高齢化は社会の至るところに歪みを生み、貧困や格差問題はさらに深刻さを増しています。

時代背景は異なりますが同じように貧困や格差が社会問題となっていた明治後期に施薬救療(無償で病気の治療を行うこと)により人々の命を救ったのが済生会の原点です。済生会の黎明期を振り返るとともにその原点を現代に受け継ぐ無料低額診療について今回は話をしたいと思います。

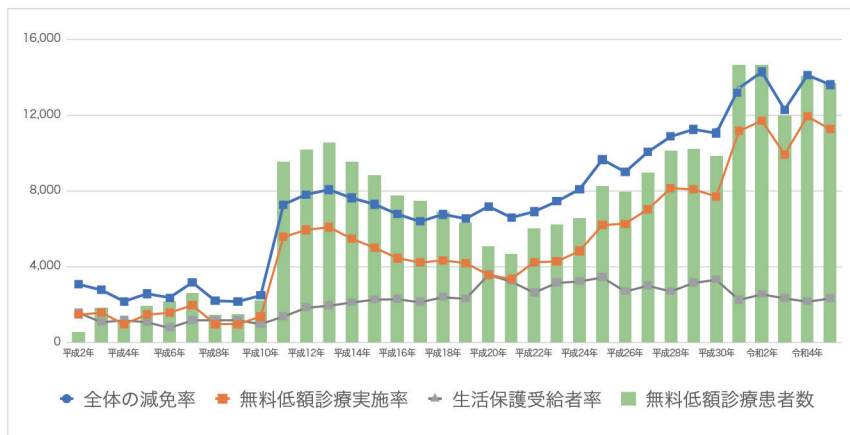
明治44年(1911年)2月11日、明治天皇は時の内閣総理大臣、桂太郎を御前に召され「済生勅語」を発せられます。当時の日本は日露戦争に勝利し成金景気に沸く一方で戦争により大黒柱を失ったり、傷を負って働けず貧困にあえぐ多くの人々がいました。病気になっても治療を受けられず、薬も買えず、死を待つばかりの惨状でした。この世情を憂いた明治天皇は貧困のため医療を受けられない人々に無償で治療を行い(施薬救療)、命を救うこと(済生)を済生勅語を通して指示されたのです。そしてお手元金150万円(現在の価値にして約18億円)を下賜されました。勅語を受けた桂総理大臣は日本中を奔走し、2,400万円の寄付金(現在の価値にして290億円)を集め、わずか3ヶ月後の明治44年5月30日、恩賜財団済生会を発足させたのです。(恩賜財団:天皇陛下からいただいたもので創設された財団)以来、施薬救療の精神を具現化するために診療所は東京を病院は神奈川をかわきりに無償で生活困窮者へ医療提供を行う診療所や病院が全国で次々に開設されていきます。

済生勅語から今年で114年が経過しますがこの施薬救療の精神は日本中の済生会病院や診療所に時代の荒波を越え無料低額診療として受け継がれています。戦後は恩賜財団として存続することはできず、社会福祉法人として新たなスタートをきることになりましたが、施薬救療の精神を忘れまいと施設名には恩賜財団という言葉を残しています。当院であれば社会福祉法人 済生会支部大分県済生会日田病院となります。

当院の無料低額診療は当初停滞する時期もありましたが平成11年に専任の医療ソーシャルワーカーの配置を期に飛躍的に増加しました。その後さらに医療ソーシャルワーカーを増員し、平成21年からは右肩上がりに増加しています。(グラフ)また、無料低額診療制度は無償で医療を提供することだけに止まりません。医療の枠組みを超えてソーシャルワーカーが様々な生活相談に応じ、支援していることも重要な点です。当院では現在、7人の医療ソーシャルワーカーを院内に配置して年間7,000件を越える様々な相談に応じています。(写真)さらに健康相談事業、刑余者支援事業、生活必需品等を無償で提供するリユース事業等の社会福祉活動を積極的に行っています。無料低額診療をはじめとしたこれら社会福祉活動は現代の格差社会にあって、益々重要性を増すものと考えています。



当院の医療ソーシャルワーカー



声

のおはなし

リハビリテーション部 主任言語聴覚士 金子 武史

〈声はどうやって出る？〉

発声は大まかに分けて、①息の送り出し、②声帯の振動、③共鳴の3つの作業により成り立っています。〈図1〉

「毛笛」というおもちゃをご存知でしょうか。風船にストローがついていて、息を吹き込んで風船を膨らまし、風船の空気が抜ける時に、プーと音の出るおもちゃです。実は人間の声も同じ原理なのです。〈図2〉

人間の場合は、①肺から送り出された息で②声帯振動させ、③そこで生まれた音を口や喉の空間の形を変化させて響かせてそれぞれ特有の「声」を生み出しています。

声の種類も人それぞれ異なります。高い声の人もいれば、ハスキーな人もいます。それは、人それぞれ、声帯の厚み、長さ、声を響かせる空間の広さ、形など骨格の違いがあるからなのです。声は喉頭の位置を高くしたり低くしたりすることで音程をつけることもできますし、息の強さや声帯の閉鎖加減によって強弱をつけることもできます。つまり声を生み出す喉頭は楽器と同じであり、とてもデリケートな器官なのです。

〈飲み込みの機能にも関係がある〉

飲み込む瞬間は声帯が閉じているのですが、声帯を閉じる力が弱くなると食べ物や飲み物が隙間から気道に入りやすくなります。また、声を響かせる空間を変化させる筋(咽頭収縮筋)は、食べる、飲むなど飲み込みの機能にも大きく関係しており収縮力が弱くなると、飲み込みの力が弱くなりムセやすくなってしまいます。

〈呼吸と姿勢〉

声を出すには声帯を振動させるための息が必要となります。そして、吐く息の強さや長さを調整する必要があり、安定した呼吸が必要となります。例えば、100Mを全力で走った直後の息切れした状態で話すのはとてもきつく感じるでしょう。また、前屈して背中を丸くすると胸郭が動きにくく呼吸がしにくい状態になり話すこともしにくくなります。つまり、良い声を出すにはラクに呼吸ができる環境が必要となり、そのためにもある程度安定した姿勢と柔軟性を保つことが大事になってきます。

実は発声するということは、口や喉だけではなく全身を使った運動という事ができるのです。運動することに抵抗がある方は、ボイストレーニングや歌など声を使った全身運動をしてみてくださいはいかがですか？

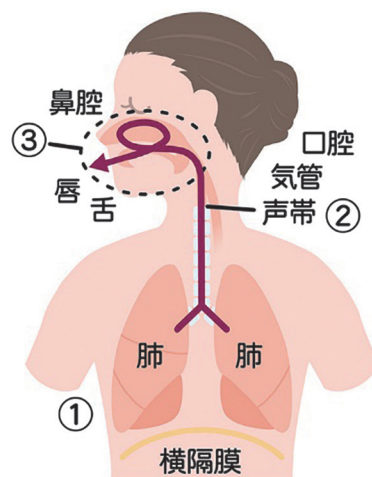


図1 発声のメカニズム (図:地元新聞社提供)



図2 毛笛の例 (図:地元新聞社提供)

薬剤関連顎骨壊死 防止の取り組みについて

- 歯科口腔外科 -

部長 中村 芳明 / 医員 森口 智史



薬剤関連顎骨壊死とは、骨粗鬆症やがんの治療で使用されるビスホスホネート製剤やデノスマブ（抗ランクル抗体）、血管新生阻害剤などの骨修飾薬の副作用で顎の骨が壊死し骨が露出し、顔が腫れたりひどい場合は皮膚に穴が開いたりする事です。

そのメカニズムは、骨修飾薬で破骨細胞の活性を阻害し顎骨のリモデリングが抑制され骨が壊死状態になります。その状態で抜歯や歯茎に傷が傷つくと治らずに骨の破壊や吸収が起こり骨も露出したりします。

治療は腐骨を取ったり重篤な場合は顎骨の大部分を切除する事もあります。

当初は海外のデータの引用で、虫歯や歯周病が原因で起こる骨髄炎の発症とあまり変わらず問題ないとされていましたが、その後の国内の報告で薬剤性は通常の骨髄炎の10倍以上の確率で発症することがわかりました。

その予防は、原因となる虫歯や歯周病を骨修飾薬の投与前に治療することが必要です。

そのため骨粗鬆症やがんの治療をする医科の処方医の先生は、必ず患者さんを骨修飾薬投与前に歯科受診を患者さんに勧めて治療をしてもらわなければなりません。

当科では2021年をピークに薬剤関連顎骨壊死が増加し、統計によっては全国平均を上回るほどになりました。

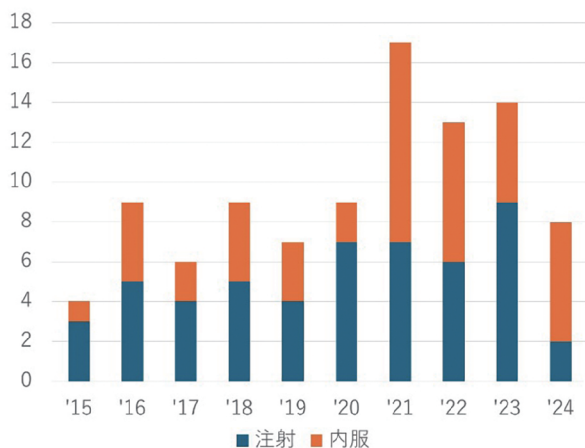
そのため防止について当科より西部医療圏、大分県の医師会、歯科医師会、薬剤師会で様々な講演や研修会を行い、本年は月平均で減少傾向になりました。(図1)

今後も防止の取り組みを続けていきますが、一番重要なのは患者さんがまず歯科受診をして治療をしなければまったく防止にはならないことです。

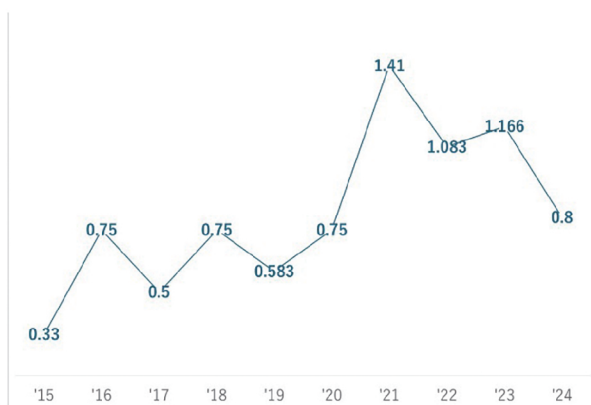
済生会日田病院における薬剤関連顎骨壊死患者の推移

(図1)

年別の患者数推移



月ごとの平均患者数



※2024年は10月までの患者数

本院では2022年より整形外科において二次性骨折防止のFLS（骨折リエゾンサービス）が開始され当科も介入しています。

その中で骨修飾薬投与前に抜歯の必要なケースがありますが、ご高齢な方が多く抜歯の説明を整形外科の先生も含めて行っています。（図2）このように骨粗鬆症の治療を中断することなく二次性骨折と顎骨壊死も防止できるような協力体制を作っています。

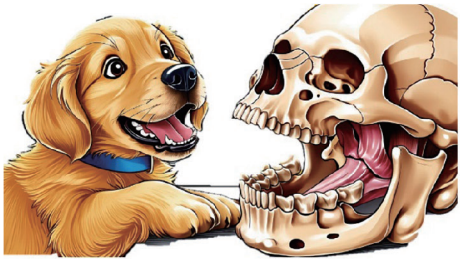
医療関係者には薬剤関連顎骨壊死について理解が深まっていると思われませんが、今後は一般の方にも顎骨壊死防止の啓発を行っていききたいと思います。

（図2）

				【様式1-3】
殿				骨粗しょう薬を受ける患者さんへ
生年月日	歳	力月	性別	
<p>■ 骨粗しょう症の患者さんは歯を支えるあごも弱っている場合があります。また、骨粗しょう症の薬を使用している時に抜歯などを行うと傷が治りにくく、顎骨壊死（あごの骨が壊死し炎症が起こる）が生じ治療には長い時間がかかります。</p> <p>■ そのため骨粗しょう症の薬を使用する前に歯科を受診して、原因となる虫歯及び歯周病の治療や、保存できない歯の抜歯について必ず行う必要があります。</p> <p>すでに骨粗しょう症の薬を投与している方で歯や歯ぐきが痛い場合はすぐに歯科受診をしましょう。</p> <p>■ 本院の整形外科の医師や看護師から歯科口腔外科受診を勧められますので受診してください。</p> <p>お口の状態に問題がないかを診査します。その上でご本人、ご家族に説明し治療の必要があれば行います。</p> <p>よろしくお願いします。</p>				
説明医師		印		（診療科）
同席者（病院側）				（所属）



済生会日田病院 歯科口腔外科



顎骨壊死の防止



骨粗鬆症の円滑な治療

公認心理師・臨床心理士の現在の取り組みについて



公認心理師・臨床心理士 田中ユリ子

済生会日田病院に公認心理師・臨床心理士(以下、「心理師・心理士」)が勤務するようになって、早いもので10年が経とうとしています。医療施設で心理師・心理士が常勤でいるのは精神科や心療内科が一般的で、多くの方がそんなイメージを持たれていると思います。実際、当院のように精神科・心療内科のない病院で心理師・心理士が常勤で在籍しているのは全国的に見ても少なく、大分県内では非常に珍しいことです。これまで多くの患者さんご家族、当院職員の皆さんからお話を聴く機会をいただきながら、当院での業務を模索してまいりましたが、より多くの方のお役に立てるように、今現在の心理師・心理士業務についてあらためてご紹介します。



①子ども相談外来

小児科外来での相談業務で、原則として初診時の年齢が小学生から中学生までのお子さんを対象としています。小児の心身症(身体表現性障害)から、発達障害を疑うが専門医を受診したほうが良いかどうかといったご相談もお受けしています。毎週火曜13時30分~16時30分は電話での保護者相談も受け付けていますので、お気軽にご相談ください。



②成人患者さんのカウンセリング

当院で加療中の外来患者さん、入院患者さんであれば、診療科目や疾患に関係なく、どなたでもご利用いただけます。治療が長期に及んでいる患者さんの心理的苦痛や不安の軽減だけでなく、日常生活で抱えている人間関係や家族関係・夫婦関係についての悩み、これからの人生をどう生きたいかなど、お話し頂く内容に制限はありません。



③当院職員のメンタルヘルス相談

当院の職員が少しでも心健やかに働くための取り組みとして、職場内での相談業務をおこなっています。自身のメンタルヘルスだけでなく、子どもや家族、同僚や親しい友人について、その相談対象や内容は幅広いです。

「誰かに話すこと」は「自分に気づくこと」に繋がります。心理師・心理士は具体的な助言や解決はしませんが、自分がこれからどうしたいか、あるいはどうすべきかについて自分で意思決定するまでのプロセスを支援します。気づきを得られると、人は自ずとこれからどうすれば良いのか、自己決定が容易になります。

前述しましたが、当院のカウンセリングでの相談内容は、現在のところ特に限定していません。病気や治療に関わらず、自分がどうしたいかわからなくなった時、あるいは誰かに話を聴いてもらいたくなった時に、済生会日田病院には心理師・心理士がいることを思い出していただければ幸いです。

ドクター紹介 NADESHIKO DOCTOR



腎臓内科医員

繁永 直樹

(令和6年10月1日着任)

趣味・モットーについて 旅行、先行投資

私の健康法について EPA・DHA摂取

患者さんへ一言 親身なサポートを心がけます。一緒に頑張りましょう。

開業医の先生方へ 地域の医療連携を大切に、先生方と共に患者様に最適な治療を提供していきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひします。

MEDICAL COLLABORATION

地域医療連携施設のご紹介



連携クリニック紹介:010

医療法人 中川泌尿器科

医療法人中川泌尿器科は大分県日田市に中川克之理事長が昭和53年に開院しました。

患者様が安心できる安全な医療を心がけ、質の高い医療を提供し地域からも信頼され期待される有床診療所を目指してきました。

令和7年4月より有床診療所から無床診療所へ診療形態を変更することとなりました。近隣の病院と病診連携を行い地域医療に貢献して参ります。



医療法人 中川泌尿器科

〒877-0062 大分県日田市上野町泉601-1
TEL.0973-24-5255 FAX.0973-22-7408
mail: info@nakagawa-ur.net



院長：吉井 慎一 先生

■ 診療時間

月・火・水・金

午前／9:00～12:30 午後／14:00～18:00

木・土

午前／9:00～12:30 午後／休診

■ 休診日 日・祝祭日

※休診時間・休日・夜間も急患の場合は対応します。



大分県済生会日田病院では、地域の医療機関との連携のため、地域医療連携ネットワークを運用します。

地域医療室 E-mail renkei@saiseikai.hita.oita.jp

TEL.0973-22-8738 FAX.0973-22-8830

■ 地域医療室は、地域の医療機関との緊密な連携を確保し、診療所と病院あるいは病院間での機能分担や機能連携を進め、住民の皆さんが身近な地域で適切な医療を受け入れられるよう、効率的な医療システムの構築に努めています。どうぞよろしくお願いいたします。

■ 医療情報連携ネットワーク [ID-Link]

(登録医療機関数 日田市19 玖珠郡4 中津市2) (令和5年度実績: 97件)

連携可能項目: 処方、注射、検体検査、画像オーダー、文書・レポート類、ノート、簡易サマリ

済生会日田病院での治療経過をより詳細かつ正確に紹介先の医療機関へ伝達できるよう、当院では医療情報連携ネットワーク [ID-Link]を用いた医療情報を円滑かつ緊密に行っています。なお、ご希望の医療機関の方はお申し付けください。



無料又は低額診療のご案内

医療費でお困りの方は、まず、ご相談ください。

済生会日田病院は、社会福祉法人の病院として、社会福祉法第2条第3項に基づき、**経済的な理由によって、必要な医療を受ける機会が制限されることのないように**、医療費の支払いに困っている方を対象に、診療費の自己負担額を減免（無料又は低額診療事業）しています。

●受診を控えたり、受診回数を減らすことのないように、まず、ご相談ください。

医療ソーシャルワーカーが相談に応じ、所定の手続き（面談・所得の確認等）を経て、本制度の適用について決定します。プライバシーは厳守します。

- 対象者例：①市町村県民税非課税世帯の方 ②市町村県民税均等割のみ課税世帯の方
③「限度額適用・標準負担額減額認定証」の適用を受けている方
④「後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証」の適用を受けている方
⑤「就学援助制度」の認定を受けている方
⑥低所得者等の生活困難者（世帯収入が生活保護基準の1.5倍までの者）



(例) 日田市在住、70歳、一人暮らしの場合：1ヶ月の生活保護基準の1.5倍は97,800円となります。年金収入等がそれを下回っている場合は当制度の該当となる可能性があります。（但し、生活保護基準は家族構成等により変動します）
※上記は一例です。状況によって対象となる場合がありますので、ご相談ください。

利用方法：①から⑤に該当する方は関係機関からの証明書、認定証、通知書等をご提示してください。
⑥の方については、面談にて詳細な状況を確認いたします。
本人または成年以上のご家族等から、診療費減免申請書を提出していただきます。
院内の所定の手続きを経て、減免の可否について決定し、本人または成年以上のご家族等へ通知いたします。

※失業等により一時的に低所得となった場合やDV（配偶者からの暴力）を受け医療費の支払いが出来ない方、保険証が無い方でも外来診療費・入院診療費ともに相談に応じることが可能ですので、どうぞ遠慮なく医療相談員まで声をお掛けください。

令和6年度

巡回診療事業計画のお知らせ

無医地区名	診療所・時間	令和7年		
		1月	2月	3月
東羽田高花	高花公民館 13:45~15:15	14(火) 28(火)	12(水) 25(火)	11(火) 25(火)
古 後	古後生活改善センター 13:45~15:15	21(火)	18(火)	18(火)

- ※身体のことでお悩みの方は、お気軽にお申出ください。
※健康保険証、医療受給者証（または高齢受給者証）を持参してください。
※病院の窓口で現金をお支払いいただくのと同様に有料です。



社会福祉法人 済生会支部

大分県 済生会 日田病院 広報誌「なでしこ」
(巡回通信誌) 2025 新年号 [vol.10]

- 誌面に関するお問合せ・情報掲載に関するご依頼については、[総務課内 広報誌「なでしこ」係]まで
〒877-1292 大分県日田市大字三和643番地の7
TEL 0973-24-1100 FAX 0973-22-1269